

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立笹島中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 450-0002
名古屋市中村区名駅四丁目19-1

E-mail : sasashima-j@nagoya-c.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 43 名 女子 40 名 合計 83 名
 児童・生徒の年齢 12歳～14歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

1. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

「地域の文化遺産を用いた郷土学習」と「国際理解に関する学習」に取り組んだ。今年度は特に「地域の文化遺産を用いた郷土学習」を中心に取り組んだ。

○ 地域の文化遺産を用いた郷土学習

ア お囃子体験

6月には、総合的な学習の時間に、二福神車（にふくじんしゃ）、紅葉狩車（もみじがりしゃ）、唐子車（からこしゃ）という3つの山車保存会の方々を招き、お祭りの時に演奏されるお囃子の体験を全校で行った。

イ 山車・からくり人形見学会

10月には、地域の祭礼に向けて飾り付けがされた山車を見ながら、保存の方に、山車やからくり人形について話を聞く会を行った。山車やからくり人形のしくみや歴史、また、伝統を守ろうとする気持ちや困難さについて聞くことができた。

ウ 地域祭礼への参加

10月第2土曜日・日曜日に行われる地域の祭礼へ、1年生の有志が参加した。祭礼では、地域の保存会の方と一緒に、山車の綱曳き役として参加させていただくことができた。参加した生徒からは、「山車の迫力を感じることができた」「地域の伝統文化を守る大切さが分かった」など、有意義な体験となったことが分かった。

エ 文化祭での学習成果の発表

11月に行われる文化祭で、1年生が6月から取り組んできたお囃子体験、山車・からくり人形見学会、地域祭礼への参加で学んだことを舞台上で発表した。

○ 国際理解に関する学習

・社会科・英語科でタイアップしたフェアトレードに関する学習

3年生の授業で、フェアトレードを題材にして、まず社会科で、貧困や児童労働などの問題について学習し、問題解決方法について話し合う学習に取り組んだ。話し合い後、各自で考えをまとめた。その後、まとめたものを英語に翻訳し、それをもとにビデオレターを作成し、ガーナの方に見ていただく学習に取り組んだ。学習後、生徒からは「このまま世界の問題を放っておいてはいけない」「自分でやれるところから始めていく」という感想が出された。

○ 実践の成果

地域の文化遺産を用いた学習では、文化財として残る山車の構造を学習し、お囃子を体験したり、地域の方から山車を後世に伝える努力やその思いを聞かせていただいたりすることによって、地域や郷土に誇りをもち、郷土を愛する心が高まったように感じられた。また、国際理解に関する学習では、世界で起きている多くの問題について、その現状を知ることで、自分たちから何か行動を起こさなければという考えをもつ生徒が多く見られるようになった。

